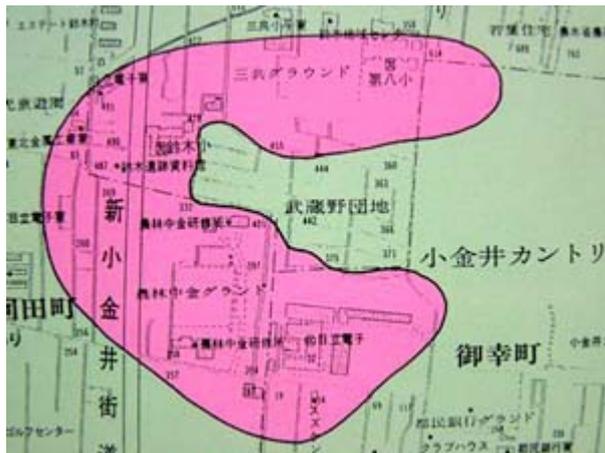


## ■ 三宝寺池 . . .



石神井川の源は一体どこなのだろう…？

昨年暮れに行われた理事会の忘年会で、このことが話題になりました。誰もが石神井公園だろうと思っていたのですが、小平市の「小金井カントリー倶楽部」付近まで行くということが分かり、まさに目からうろこ。このコラムが始まったきっかけでした。（右上地図の赤色部分を参照）

さて、その石神井川ですが、小平市鈴木町の狭長な低地に浸透した地下水が、田無・保谷を過ぎ練馬区内で湧出して富士見池（武蔵関公園）を作ります。さらに石神井地区でも湧出し三宝寺池を作り、細流となってボート池辺りで合流します。こうしてできた流れは、練馬区のほぼ中央部を西から東へ地形に沿いながら蛇行し、板橋区を過ぎ北区飛鳥山から隅田川に落ちていきます。

前段が長くなりました。今回取り上げるのはその水源の1つ「三宝寺池」です。地形的には標高およそ50mに位置しており、その等高線をたどると杉並区内の善福寺池、武蔵野市井の頭池などがあります。かつては豊富な湧き水を誇っていましたが、現在は、汲み上げた地下水に頼っています。

でも、池の周囲に整備された木道を歩くと、ビルや鉄塔などの人工的な建築物は全く見えず、都内とは思えない静けさに満ちており、あまりにも自然とゆったり向き合う時間を過ごすことができることに驚かれることでしょうか。まさに「お散歩コース」としては絶品です。また、ここは「三宝寺池沼沢植物群落」として国の天然記念物に指定されており、四季を通じて様々な動植物を楽しむことができます。キャンバスやカメラに向かう人がとても多いのも特徴です。

ところで、もとはこちらが「石神井池」でしたが、水田だった所をせき止めて作った現在のボート池に母屋を取られてしまいました。そういえば、このボート池は「島耕作」の漫画によく登場しますが、作者と何か関係があるのでしょうか。

「石神井」という珍しい名前は、その昔、村人が井戸を掘った時に出てきた青い石棒をご神体として祀を建て石神様として祭ったことに由来するそうですが、実は、先月号で取り上げた練馬大根同様、日本中にその名が轟いていました。理由は、当時の子どもの人気アニメ「ど根性ガエル」の舞台だったからです。モデルになった寿司屋は今冬火事にあったとか…。

最近，池の北側にある日銀運動場を公園用地として練馬区が取得したとのニュースを耳にしましたが，とても嬉しい話題でした。境をなす雑木林にひっそりと建つ照姫の姫塚が三宝寺池を守ってくれたと信じたいですね。



姫塚（左写真）



殿塚（右写真）